

05.シドニー タウンホール近辺



タウンホール近辺は中心街としての賑やかさと見応えのあるものが同居している。時計塔が目印のシドニー市庁舎は、19世紀後半に建てられたビクトリア様式の建物であり、人々の待ち合わせのスポットである。



タマネギ頭が特徴的なクィーンビクトリア・ビルディング (通称 Q.V.B.)は、市内ジョージストリートでひときわ目出ている。この建物は1898年にマーケットとして建てられたもので、1994～1996年に外観を保ったまま改修されており建物自体はゆっくり時間をかけて見物したいロマネスク様式の建築物である。



高層のビルが建ち並ぶ中、青空が見渡せるようなストリートの一部がモール (歩行者天国) の設置などの開けた空間が存在しているので町並みに圧迫感を感じさせない街だと感じた。



ビル郡の中に歴史を感じさせる建物が存在するのではなく、歴史を感じさせる空間にビル郡が存在しているのがシドニータウンホール近辺であると感じた。

岸田壮史